

付属資料

丸山 桂

I. 調査の目的

本調査は、自営業者の生活実態、将来不安の実態を把握し、リスク認識とそれに対する対処法と社会保障ニーズを把握するために行っている。これまで被用者を中心とした社会保険の加入実態や働き方に関する調査は数多く行われてきたが、自営業者のものはきわめて少ない。社会保障制度における所得保障体系が被用者と異なる自営業者に対する新しい社会保障制度体系を模索することを目的とする。

II. 調査会社

インターネット調査会社「ネットマイルリサーチ」

調査名「暮らしに関するアンケート」(2008年3月14日～16日実施)

III. 調査の設計

調査は、2段階で行った。第1段階の「予備調査」として、今回の標本対象となる自営業者、自由業を抽出するために職業を聞く調査を行った(標本数:15190人)、さらに「本調査」として自営業者、自由業に「暮らしに関するアンケート」(全67問)を実施した。標本数は1000名、うち有効回答数は950サンプル(有効回答率95%)である。

IV. 「暮らしに関するアンケート」(予備調査)

Q1 あなたの職業についてお伺いします。2つ以上の仕事をしている方は収入の半分以上を占めている職業をお選びください。【必須】

※<GO>と表記される者のみ、本調査に進む。

1. 正社員・公務員
2. 派遣・契約社員
3. パート・アルバイト
4. 日雇い労働者
5. 学生
6. 主婦
7. 無職・家事手伝い
8. 家族従業員

9. 小規模・家族経営の企業・商店の経営者（本人と家族以外に常勤の従事者がいない個人企業の事業主、各種商店・飲食店・塾経営・ピアノ教室など教室業、その他の経営者を含む） <GO>

10. 農林漁業（農家、漁師など） <GO>

11. 専門職（弁護士・弁理士・税理士・中小企業診断士・行政書士・司法書士・公認会計士・社会保険労務士・不動産鑑定士・弁理士・土地家屋調査士・介護福祉士・社会福祉士経営コンサルタント、通訳、関連事務所を経営している方も含む） <GO>

12. 診療所等を経営する医師・歯科医師（開業医） <GO>

13. はり・灸・あんま・マッサージ、柔道整復師、整体師・カイロプラクター <GO>

14. 著述業関係（作家、小説家、放送作家、劇作家、著述家（ライター）、随筆家、評論家、コラムニスト 漫画家、イラストレーター、漫画原作者） <GO>

15. 芸術関係（画家、書家、写真家、陶芸家、彫刻家、建築家、音楽家、作曲家、作詞家、演奏家） <GO>

16. 芸能関係（伝統芸能、演劇家 俳優、映画監督、脚本家、演出家、歌手、ミュージシャン、タレント） <GO>

17. 報道関係（フリーアナウンサー、フリーキャスター、フリージャーナリスト） <GO>

18. プロスポーツ等関係（公営競技（競輪・競艇・オートレースの選手や競馬の騎手など）） <GO>

19. プロの棋士、囲碁棋士 <GO>

20. 個人投資家（インターネットを使った株式投資を含む） <GO>

21. 企業に属していないプログラマやSEなどのIT業界エンジニア <GO>

22. バイク便、自転車便のライダー、トラック運転手、個人タクシー、業務委託ドライバー <GO>

23. 大工、とび職 <GO>

24. インターネットビジネス（サイト運営、ネット販売等） <GO>

25. 上記に分類されない自宅で業務を行う SOHO <GO>

26. アパート経営 <GO>

27. その他

V. 「暮らしに関するアンケート」 <本調査>

1. あなたのお仕事の概要についてお尋ねします。

Q1 あなたご自身の、ご自身の働き方の呼び方は、次のどれにあてはまりますか。もっとも近いものを1つ選んでください。【必須】

- 1.経営者・社長・役員
- 2.個人事業主
- 3.自営業
- 4.フリーランス
- 5.SOHO
- 6.在宅ワーク
- 7.請負社員
- 8.業務委託
- 9.その他

Q2 あなたは、現在のお仕事を週何日されていますか。【必須】

1. 1日 、 2. 2日 、 3. 3日 、 4. 4日 、 5. 5日
6. 6日 、 7. 7日 、 8. 決まっていない

Q3 あなたはふだん1週間に合計何時間仕事をしていますか。【必須】

() 時間 (半角数字)

Q4 あなたの一週間の労働時間は、時期あるいは季節によって変動しますか。【必須】

- 1.大きく変動する 、 2.多少変動する
- 3.あまり変動しない 、 4.まったく変動しない

Q5 あなたの労働時間は自分の裁量で決められますか。【必須】

- 1.決められる 、 2.多少は決められる
- 3.あまり決められない 、 4.まったく決められない

Q6 あなたの1か月あたりの平均休日数をご記入ください。休日がない方は、「0」とお答えください。【必須】

1か月平均の休日は()日 (半角数字)

Q7 あなたが経営あるいは働いている事業所の業種は、次のどれになりますか。もっとも適当なものを1つ選んでください。【必須】

- 1.農林漁業 、 2.鉱業 、 3.建設業 、 4.製造業 、 5.電気・ガス・熱供給・水

- 道業 ， 6.情報・通信業 ， 7.運輸業 ， 8.卸売・小売業 ， 9.金融・保険業
10.不動産業 ， 11.飲食店・宿泊業 ， 12.医療・福祉 ， 13.教育・学習支援業
14.その他のサービス業（理美容、娯楽、廃棄物処理業など） ， 15.その他

Q8 あなたがふだんお仕事をされている仕事場は、次のどれですか。もっとも適当なものを1つ選んでください。【必須】

- 1.自宅の一室(もともと居住用としてつくられているもの)
- 2.自宅に設けた工場・作業場、自宅に設けた店舗、自宅に設けた事務所
- 3.自宅と別に設けた工場・作業場、自宅と別に設けた店舗、自宅と別に設けた事務所
- 4.外回りの営業先
- 5.工事、修理、計測、取材、興業、その他作業の現場
- 6.受注先の企業や官公庁、個人の住宅
- 7.可動店舗、交通手段で移動しながら
- 8.レンタルオフィス
- 9.その他

Q9 あなたのご自身の仕事のやり方について、おもに誰から指示を受けていますか。もっともあてはまるものを1つ選んでください。【必須】

- 1.自分で決めている ， 2.自分と同じ事業所・組織の人・家族
- 3.自分とは異なる事業所・組織の人 ， 4.フランチャイズなどの契約をしている企業
- 5.その他

Q10 どのような形で事業を始めましたか。【必須】

- 1.家業を継いだ
- 2.自分で開業した → Q12へ
- 3.その他 → Q12へ

Q11 Q10で「家業を継いだ」と回答した方におたずねします。

家業を継いだ経緯は、次のうちどれに当たりますか。最も適当なものを1つ選んでください。

【必須】

- 1.以前から継ぎたいと思っていた
- 2.ほかに適当な仕事なかった
- 3.前の経営者の健康上の理由で、継がざるを得なかった
- 4.家の資産やのれんを守るために、継がざるを得なかった

- 5.自分以外に後継者がなく、継がざるを得なかった
- 6.その他

Q12 事業所の所在地は次のどれですか。事業所が複数ある場合は、主な事業所についてお答えください。【必須】

1. 政令指定都市（東京都 23 区を含む）
2. 人口 30 万人以上の市（1 を除く）
3. 人口 10 万人以上の市（1 および 2 を除く）
4. 人口 10 万人未満の市
5. 町または村

2. ご家族についておたずねします。

Q13 配偶者の方は仕事をしていますか。該当するものを全て選んでください。【必須(チェックはいくつでも)】

- 1.家族従業者として働いている → Q14 へ
- 2.フルタイムで別の企業や官公庁に勤めに出ている
- 3.アパート経営を営んでいる
- 4.パート・アルバイトとして勤めに出ている
- 5.別の事業を営んでいる（不動産賃貸業を除く）
- 6.特に仕事はしていない <EX>
- 7.配偶者はいない <EX>

Q14 Q13 で「家族従業者として働いている」を選択した方におたずねします。
配偶者の方の 1 週間平均の労働時間をお答えください。【必須】

平均 () 時間 (半角数字)

Q15 配偶者以外の同居のご家族がいらっしゃいますか。あなたや配偶者も含めた世帯全員の人数をご記入ください。【必須】

いる 人数 → ※半角で数字のみご記入ください () 人
いない → 説明 3 へ

Q16 Q15 で配偶者以外の同居のご家族が「いる」と回答した方におたずねします。
配偶者以外の同居のご家族は、働いていらっしゃいますか【必須(チェックはいくつでも)】

- 1.家族従業者として働いている → Q17へ
- 2.フルタイムで別の企業や官公庁に勤めに出ている
- 3.アパート経営を営んでいる
- 4.パート・アルバイトとして勤めに出ている
- 5.別の事業を営んでいる(アパート経営を除く)
- 6.特に仕事はしていない <EX>

【次問設定→ 説明3】

Q17 親族や子どもなどの家族従業者は何人いらっしゃいますか。配偶者の方以外の人数をお答えください。【必須】

()人 (半角数字)

3. 経営の状況などについておたずねします。

Q18 現在の主な顧客は次のうちどちらですか。1つ選んでください。【必須】

- 1.企業
- 2.官公庁
- 3.一般消費者・個人 → Q21へ

Q19 Q18で「企業」「官公庁」と回答した方におたずねします。

最も売上げが大きい企業や官公庁は売上げ全体のどれくらいを占めていますか。【必須】

売上げ全体の()%くらい

Q20 取引企業・官公庁はおおよそ何社でしょうか。【必須】

おおよそ()社くらい

Q21 現在の事業の顧客は、固定していますか。【必須】

- 1.固定している ,
- 2.ほぼ固定している ,
- 3.あまり固定していない
- 4.固定していない

Q22 現在の借入れについて、ある場合は現在の残高をから1つお選びください。

借入金がない場合は一番右の「ない」をお選びください。【必須】

金融機関(国民生活金融公庫を含む)から借入金(住宅ローンを除く) ()

金融機関以外の親、兄弟、親戚、友人、知人などからの借入金 ()

100万円未満, 100~200万円未満, 200~500万円未満, 500~1000万円未満, 1000~2000万円未満, 2000~5000万円未満, 5000~1億円未満, 1億円~2億円未満, 2億円以上 ない

Q23 現在の事業の業績について、お答えください。

同業他社と比べて、現在の業況はどうか。【必須】

- 1.良い 2.やや良い 3.ほとんど変わらない 4.やや悪い 5.悪い

Q24 今期の営業状況について、お答えください。

※この1年以内に開業された方は「前年同期」について「普通」をお選びください【必須】

	よい	普通	悪い
<業況> 今期の業況			
<業況> 前年同期と比較して			
<業況> 来年同期の見通し			
<営業利益の状況> 今期の状況			
<営業利益の状況> 前年同期と比較して			
<営業利益の状況> 来年同期の見通し			
<資金繰りの状況> 今期の状況			
<資金繰りの状況> 前年同期と比較して			

Q25 現在の月商(月平均の売り上げ)はいくらですか。【必須】

()万円くらい (半角数字)

Q26 売り上げに対して粗利は何パーセントくらいですか。【必須】

※半角数字 () %くらい

Q27 現在の採算状況はどうか。

黒字基調の方は月平均の純利益(粗利益から人件費、家賃、支払利息などの経費を除いたもの)の額もご記入ください。【必須】

1. 黒字基調 → 月平均何万円くらいですか? ※半角で数字のみご記入ください
2. 赤字基調

4. 事業に対する考え方についておたずねします。

Q28 事業を経営する上で何を重視しますか。最も適当なものを選んでください。【必須】

1. 利益を最大化すること
2. 事業規模を拡大すること
3. 事業を継続すること
4. 家計を維持すること
5. 仕事内容に満足できること
6. 社会の役に立つこと
7. その他

Q29 今後、事業規模を拡大したいと思いますか。【必須】

1. 拡大したい
2. 現状を維持したい
3. 縮小したい

Q30 現在の働き方の良いところとして、以下の項目に対してのお考えについて、あてはまるものを1つ選んでください。【必須】

	とてもそう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない
仕事と家庭のやりくりがつけやすい	1	2	3	4
家族と一緒に働くことができる	1	2	3	4
他人に命令されたり、指図されたりしない	1	2	3	4
収入を増やしたかった	1	2	3	4
自分の工夫やアイデアが仕事に生かせる	1	2	3	4
社会の役に立つ仕事をしたかった	1	2	3	4
年齢や性別に関係なく仕事をしたかった	1	2	3	4
時間の融通が付きやすい	1	2	3	4

家業を維持・発展させた かった	1	2	3	4
適当な勤め先がなかつ た	1	2	3	4
事業経営という仕事に 興味があった	1	2	3	4
時間の融通がつきやす い	1	2	3	4
定年がない	1	2	3	4

Q31 自営業主・個人事業主・自由業として働く場合に困ることとして、以下の項目に対してのお考えについて、あてはまるものを1つ選んでください。【必須】

	とてもそう思 う	ややそう思 う	あまりそう思 わない	まったくそう 思わない
仕事と家庭生活の区別 がつきにくい	1	2	3	4
自分の自由な時間がと れない	1	2	3	4
家族との団らんの時間 がもちにくい	1	2	3	4
休日が少ない、あっても 休めない	1	2	3	4
自分の働いた分の報酬 がもらえない、あっても 少ない	1	2	3	4
収入が不安定である	1	2	3	4
ボーナスや退職金がない	1	2	3	4
病気やけがで休んだと きの休業補償がない	1	2	3	4
労働時間が決まってい ない	1	2	3	4
長時間労働である	1	2	3	4
健康管理が難しい	1	2	3	4
事業資金の確保が難し	1	2	3	4

い				
---	--	--	--	--

5. 生活保障に関することについてお聞きします。

Q32 あなたは将来の自分の生活に不安を感じることがありますか。下記に項目に関し、もっともあてはまるものを1つ選んでください。【必須】

	とても不安である	やや不安である	あまり不安ではない	まったく不安ではない
仕事や収入が伸び悩む	1	2	3	4
税金や社会保険料が増える	1	2	3	4
借入金の返済が事業を圧迫する	1	2	3	4
老後の生活費が十分得られない	1	2	3	4
自分の健康状態が悪化すること	1	2	3	4
事業の後継者がいないこと	1	2	3	4

Q33 あなたの公的年金の加入状況について教えてください【必須】

1. 国民年金に加入（国民年金第1号被保険者）
2. 厚生年金・共済年金に加入（国民年金第2号被保険者）
3. 配偶者に扶養され、配偶者が厚生年金や共済年金に加入（国民年金第3号被保険者）
4. まったく加入していない → Q35へ
5. すでに年金を受給している → Q36へ

Q34 公的年金の保険料の支払い状況を教えてください。【必須】

1. 毎月きちんと納付している → Q36へ
2. 時々支払わないことがある
3. 全く支払っていない（未納である）
4. 免除されている → Q36へ

Q35 公的年金保険料を支払わない、もしくは公的年金に加入していない最も当てはまる理由を教えてください。【必須】

1. うっかりしていて、忘れた
2. 後でまとめて払おうと思った
3. 保険料が高く、経済的に支払うのが困難である
4. 支払う保険料総額より受け取る受給総額が少ないと思うから
5. まだ若いので今から支払わなくてもいいと思う
6. 長生きしないと思っているから
7. 公的年金制度（加入義務があること）を知らなかったから
8. 国民年金をあてにしていない

Q36 あなたの公的な医療保険への加入状況について教えてください。【必須】

1. 国民健康保険に加入している
2. 国民健康保険組合に加入している
3. 政管健康保険に加入している
4. 組合健康保険に加入している
5. 船員保険に加入している
6. 被扶養者（家族）として、上記3～5のいずれかに加入している
7. 上記のいずれでもなく公的な医療保険には一切加入していない → Q38へ

Q37 医療保険の保険料の支払い状況を教えてください。【必須】

1. 毎月きちんと納付している。 → Q39へ
2. 時々支払わないことがある
3. 全く支払っていない（未納である）
4. 免除されている → Q39へ

Q38 公的医療保険の保険料を支払わない、もしくは公的医療保険に加入していない最も当てはまる理由を教えてください。【必須】

1. うっかりしていて、忘れた
2. 保険料が高く、経済的に支払うのが困難である
3. 支払う保険料総額より受けられる医療サービスが少ないと思うから
4. 健康保険に加入していても医者に行くとお金がかかるから
5. 病気やケガをする可能性は低いと思うから
6. 国民健康保険をあてにしていない

7. その他

Q39 労働者災害補償保険制度（労災保険）に加入されていますか。【必須】

1. 加入している 2. 加入していない 3. わからない

Q40 あなたご本人は、以下の民間金融機関の個人年金や保険を購入していますか。あてはまるものを1つずつお選びください。

※掛け捨て型の商品も含まます【必須】

	加入している	加入していない	分からない
個人年金	1	2	3
生命保険	1	2	3
民間の医療保険	1	2	3
国民年金基金	1	2	3
個人型確定拠出型年金	1	2	3
その他積立の金融商品	1	2	3

Q41 あなたの配偶者は、以下の民間金融機関の個人年金や保険を購入していますか。あてはまるものを1つずつお選びください。

※掛け捨て型の商品も含まます【必須】

	加入している	加入していない	分からない
個人年金	1	2	3
生命保険	1	2	3
民間の医療保険	1	2	3
国民年金基金	1	2	3
個人型確定拠出型年金	1	2	3
その他積立の金融商品	1	2	3

Q42 制度・年金制度に関する各文には、正しいものと正しくないものがあります。それぞれ、正しいと思いますか、正しくないと思いますか。

(1)～(8)のそれぞれについて、1つ回答してください。【必須】

	正 し い	正 し く な い
--	-------------	-----------------------

(1) 高額な医療サービスを受けた場合、自己負担額が減免される制度がある。		
(2) 生活保護の対象でなくとも、低所得者は、医療保険料を全額免除となる制度がある。		
(3) 医療制度改革によって、すべての40歳以上の国民に対し、健康診断を受けることが義務づけられた。		
(4) 同じ医療サービスを受けた場合、年齢にかかわらず、自己負担額は同じである。		
(5) 国から年金を受け取るためには最低25年間の加入が必要である。		
(6) 物価が上がると、基本的に物価の上昇にあわせて年金額が増える。		
(7) 基礎年金とは、保険料を納めなくても受け取れる年金のことである。		
(8) 自営業者などが払う国民年金の保険料は、住民税の額に応じて決まる。		

Q43 また、Q42の回答にはどの程度自信がありますか。それぞれについて、お答えください。【必須】

	まったく自信がない	あまり自信がない	どちらかというと自信がない	どちらかというと自信がある	かなり自信がある	絶対の自信がある
(1) 高額な医療サービスを受けた場合、自己負担額が減免される制度がある。	1	2	3	4	5	6
(2) 生活保護の対象でなくとも、低所得者は、医療保険料を全額免除となる制度がある。	1	2	3	4	5	6
(3) 医療制度改革によって、すべての40歳以上の国民に対し、健康診断を受けることが義務づけられた。	1	2	3	4	5	6
(4) 同じ医療サービスを受けた場合、年齢にかかわらず、自己負担額は同じである。	1	2	3	4	5	6
(5) 国から年金を受け取るためには最低25年間の加入が必要である。	1	2	3	4	5	6
(6) 物価が上がると、基本的に物価の上昇にあわせて年金額が増える。	1	2	3	4	5	6
(7) 基礎年金とは、保険料を納めなくても受け取れる年金のことである。	1	2	3	4	5	6
(8) 自営業者などが払う国民年金の保険料は、住民税の額に応じて決まる。	1	2	3	4	5	6

Q44 次の社会保障制度で、いずれ利用する可能性が高く、自分にとって重要な制度であると思うものについて、その重要度に応じて順番に数字を振ってください。【必須】 ※この設問は各列が1～7で重複しないように入力してください

順位 (半角数字)

- A) 医療保険制度 (病気やけがの時の治療費が補償される) 位
- B) 公的年金保険制度の老齢年金給付 (老齢になった時に、年金が給付される) 位
- C) 公的年金保険制度の遺族年金給付 (一家の大黒柱が亡くなったときに、遺族に年金が給付される) 位
- D) 公的年金保険制度の障害年金給付 (障害者に対して、年金が給付される) 位
- E) 介護保険制度 (要介護状態になった時に、介護サービスが利用できる) 位
- F) 労働災害保険制度 (仕事上のけがや病気の際の治療費や死亡保障) 位
- G) 生活保護制度 (最低限度の生活が維持できなくなったときに、給付される) 位

Q45 もし、次の社会保険制度に加入するかどうかが、個人の自由意志で決定できるのであれば、どのような優先順位で加入しますか。【必須】 ※この設問は各列が1～5で重複しないように入力してください

順位 (半角数字)

- A) 医療保険制度 位
- B) 年金保険制度 位
- C) 介護保険制度 位
- D) 労働者災害補償保険制度 (労災保険) 位
- E) 雇用 (失業) 保険制度 位

Q46 現在、事業からの収入や給与は、十分生活していける水準だと思いますか。【必須】

1. 十分生活していける
2. ほぼ生活していける
3. ときどき生活していける水準ではないことがある
4. まったく生活していける水準ではない

Q47 老後の生活に対して不安を感じるがありますか。【必須】

1. 非常に不安を感じる
2. 不安を感じる

3. 少し不安を感じる
4. 不安感はない → Q49へ
5. わからない → Q49へ

Q48 老後に対する不安をもっとも感じるのは、次のどれですか。【必須】

1. 老後に十分な収入が確保できないこと
2. 健康状態が悪化して、病気になること
3. 身体能力が低下して、要介護状態になること
4. 子どもからの援助が期待できないこと
5. 住居が確保できないこと

Q49 同年代の人たちと比較して、あなたの健康状態で最も当てはまるものは以下のどれですか。【必須】

1. 極めて健康である
2. やや健康である
3. 普通
4. やや病気がちである
5. 病気がちである

Q50 あなたは、自分の健康にふだんから気をつけていますか。【必須】

1. とても気をつけている
2. 気をつけている
3. 普通 → Q52へ
4. あまり気をつけていない → Q52へ
5. 気をつけていない → Q52へ

Q51 とても気をつけている、気をつけている、方にお聞きします。それは、特にどのようなことですか。おもなものを1つあげてください。【必須】

1. 栄養、食事
2. 睡眠
3. 運動
4. 休養
5. その他

Q52 あなたは、定期的に健康診断（人間ドック）を受けていますか。【必須】

1. 毎年受けている
2. 数年にいつぺん受ける
3. 受けていない

Q53 保険料や税金の負担感についてお伺いします。

- (1)～(4)の負担感についてあてはまるものを1つお選びください。【必須】

	大変負担感が強い	やや負担感がある	普通	負担でない	まったく負担感はない
(1)公的年金保険料	1	2	3	4	5
(2)公的医療保険料	1	2	3	4	5
(3)所得税・地方税	1	2	3	4	5
(4)消費税について、消費者として	1	2	3	4	5

Q54 次の3つの選択肢から一つを選ぶことができますとします。

どれを受け取るかを考えてください。【必須】

1. 本日受け取る1万円 → Q56へ
2. 1か月後に受け取る1万円 → Q56へ
3. 1か月後に受け取る2万円

Q55 Q54で「1か月後に受け取る2万円」と回答した方におうかがいします。

1か月後に受け取る2万円がどこまで低下したら、「本日受け取る1万円」に選択を変えますか。【必須】

1. 1万9千円
2. 1万8千円
3. 1万7千円
4. 1万6千円
5. 1万5千円
6. 1万4千円
7. 1万3千円
8. 1万2千円
9. 1万1千円

Q56 次の2つの選択肢から一つを選ぶことができますとします。

どちらを受け取ることのどちらがよいかを考えてください。【必須】

1. 確実に受け取ることができる1万円
2. 確率50%で2万円、確率50%で0円になるくじ → Q58

Q57 Q56で「確実に受け取ることができる1万円」を選択した方におうかがいします。

確実に受け取る額がどこまで下がれば、「確率50%で2万円、確率50%で0円になるくじ」に選択を変えますか。【必須】

1. 9千円
2. 8千円
3. 7千円
4. 6千円
5. 5千円
6. 4千円
7. 3千円
8. 2千円
9. 1千円

6. あなたご自身のことについてお聞きします。

Q58 最終卒業学校についてお答えください。中途退学した人は、その前の学校についてお答えください。【必須】

1. 中学
2. 高校
3. 高専
4. 専修・各種学校
5. 短大
6. 大学（文系）
7. 大学（理系）
8. 大学院（文系）
9. 大学院（理系）
10. 海外の学校
11. その他

Q59 未成年のお子さんはいらっしゃいますか。【必須】

1. いる
2. いない

Q60 現在のお仕事の直前の職業は次のうちどれですか。【必須】

1. 会社や団体の常勤役員
2. 勤務者（管理職）
3. 勤務者（管理職以外）
4. パートタイマー・アルバイト
5. 派遣社員・契約社員
6. 家族従業員・家業手伝い
7. 学生
8. 専業主婦
9. 特に仕事はしていない
10. その他

Q61 次にあげる(1)～(6)の日頃の生活面について、どの程度満足していますか。【必須】

	かなり満足している	やや満足している	どちらともいえぬ	あまり満足していない	ほとんど満足していない
(1)収入	1	2	3	4	5
(2)資産	1	2	3	4	5
(3)余暇・ゆとり	1	2	3	4	5
(4)仕事	1	2	3	4	5
(5)心の豊かさ	1	2	3	4	5

(6)生活全般	1	2	3	4	5
---------	---	---	---	---	---

Q62 同世代のサラリーマンとご自分を比べてどちらがよいと思いますか。 【必須】

	サラリーマンの方がよい	どちらともいえな い	自分の方がよい
(1)収入	1	2	3
(2)時間や気持ちのゆとり	1	2	3
(3)仕事のやりがい	1	2	3
(4)社会的地位	1	2	3
(5)自分らしい生き方	1	2	3
(6)健康状態	1	2	3

Q63 同居のご家族の収入も含めて、お宅全体の年収は合計して、この中のどれにあたりますか。(仕送りや年金を含みます) 【必須】

1. 120万円未満
2. 120万円～300万円未満
3. 300万円～500万円未満
4. 500万円～700万円未満
5. 700万円～1000万円未満
6. 1000万円～2000万円未満
7. 2000万円～3000万円未満
8. 3000万円～5000万円未満
9. 5000万円～1億円未満
10. 1億円以上
11. わからない
12. 答えたくない

Q64 そのうち、ご自身の年収はこの中のどれにあたりますか。(売り上げから必要経費を引いた、ご自身の所得と考えている額です。仕送りや年金を含みません) 【必須】

1. 120万円未満
2. 120万円～300万円未満
3. 300万円～500万円未満
4. 500万円～700万円未満
5. 700万円～1000万円未満
6. 1000万円～2000万円未満
7. 2000万円～3000万円未満
8. 3000万円～5000万円未満
9. 5000万円～1億円未満
10. 1億円以上
11. わからない
12. 答えたくない

Q65 現在のお住まいは、次のどれにあたりますか 【必須】

1. 持ち家である (マンション含む)
2. 賃貸である
3. その他

Q66 同居のご家族の分も含め、お宅全体の資産(不動産、預貯金など)は合計して、この

中のどれにあたりますか。 【必須】

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 100万円未満 | 2. 100万円～200万円未満 |
| 3. 200万円～500万円未満 | 4. 500万円～1000万円未満 |
| 5. 1000万円～2000万円未満 | 6. 2000万円～5000万円未満 |
| 7. 5000万円～1億円未満 | 8. 1億円～2億円未満 |
| 9. 2億円以上 | 10. わからない |

Q67 お宅は、毎年、所得のおおよそ何%程度貯蓄していると思いますか。 【必須】

- | | | | | |
|-----------|-----------|----------------|--------|---------|
| 1. 0% | 2. 5% | 3. 10% | 4. 15% | 5. 20% |
| 6. 25% | 7. 30% | 8. 35% | 9. 40% | 10. 50% |
| 11. 60% | 12. 70%以上 | 13. 貯蓄を取り崩している | | |
| 14. わからない | | | | |

以上

<調査対象者の属性>

性別			年齢				
		全体				全体	
		N	%			N	%
1	男性	761	76.1	1	20代	100	10
2	女性	239	23.9	2	30代	200	20
全体		1000	100	3	40代	250	25
				4	50代	300	30
				5	60才～64才	150	15
				全体		1000	100

結婚			地区				
		全体				全体	
		N	%			N	%
1	未婚	400	40	1	北海道・東北	106	10.6
2	既婚	600	60	2	関東	391	39.1
全体		1000	100	3	北陸・甲信越	42	4.2
				4	東海	100	10
				5	近畿	212	21.2
				6	中国	38	3.8
				7	四国	24	2.4
				8	九州・沖縄	87	8.7
				全体		1000	100